

令和4年度 第2回羽島市立竹鼻中学校運営協議会 議事録

1	日時	令和4年11月29日(火) 10時30分～12時20分
2	場所	羽島市立竹鼻中学校 会議室 (北舎1階)
3	出席者	<p>9名</p> <p>松下 友幸 (会長 地域コーディネーター竹鼻町 不二羽島文化センター顧問)</p> <p>小林 美雪 (副会長 地域コーディネーター福寿町 元西部幼稚園園長)</p> <p>田中安志郎 (福寿コミュニティセンター館長)</p> <p>牧野 貞臣 (竹鼻コミュニティセンター館長)</p> <p>岩佐 和子 (福寿町主任児童委員)</p> <p>後藤周太郎 (羽島高等学校長)</p> <p>水谷 宏明 (竹鼻中PTA会長)</p> <p>森山 健 (本校 校長)</p> <p>黒木 美芳 (本校 教頭)</p>
4	議事	<p>0. リズムフェスタ参観</p> <p>1. 開会あいさつ (協議会会長)</p> <p>2. 学校運営の現在について</p> <p>3. 生徒の姿について</p> <p>4. 竹鼻中校区小中一貫教育について</p> <p>5. 学校評価について</p> <p>6. 意見交流</p> <p>7. 閉会あいさつ (協議会副会長)</p> <p><b>【リズムフェスタについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロナ禍だからできないのは仕方ない」とせず、「今何ができるか」と考えて実行しているのが素晴らしい。</li> <li>・教員にとっては毎年の行事でも、生徒にとっては一生に一回の行事。工夫して実現することは大切である。</li> <li>・コロナ禍で行事がどんどん削減される中、ボディパーカッションで表現するのは画期的でよいアイデアだった。</li> <li>・合唱も聴いて感動するが、短時間で動きをそろえる合唱にない感動があった。</li> <li>・これまでに固執せず、新しいことに挑戦する姿がよい。</li> <li>・合唱もみんなで力を合わせた思い出ができるが、リズムフェスタという形で、みんなで力を合わせる「伝統」を残しているところが嬉しい。</li> <li>・校訓の「創造」の部分が活かされている行事だった。生徒と教員で工夫して創造している。</li> <li>・来年はどうなるかわからないが、文化的活動を大切にしていきたい。</li> </ul> <p><b>【生徒の姿について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での生徒の姿から、落ち着きを感じた。</li> <li>・登校中の生徒たちの挨拶が気持ちよい。</li> <li>・生徒と教員のやりとりや動きから、関係がうまくいっていることを感じた。</li> <li>・不登校生徒のことが気がかり。次のステージへ元気に巣立って行ってほしい。そのために、できることがあれば協力していきたい。</li> </ul> <p><b>【地域との連携について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターのボランティアに意欲的に参加している。</li> <li>・地域のイベントにおいて、吹奏楽部が素晴らしい演奏を披露してくれる。</li> <li>・学校は閉ざされたイメージがあるが、美術科と兎月園のコラボレーション、SDGs 取組で企業とタッグを組むなど、学校外と連携した活動が素晴らしい。</li> </ul>

		<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても、学校行事をほぼ実施できているのがよい。保護者の願いとして、授業参観を実施してほしい。</li> <li>・学校の取組や活動を、保護者にどんどん発信していけるとよい。</li> <li>・PTAの組織について見直しを行ったことで、保護者の負担軽減につながった。</li> <li>・主任児童委員の存在を知ってもらえるとよい。学校と家庭と一緒に連携してできることがある。</li> <li>・ホッケー体験、興味深かった。市内に良き指導者がおられるので、ホッケー部が立ち上がることに期待したい。</li> </ul>
5	連絡等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回 第3回竹鼻中学校学校運営協議会 令和5年3月9日（火）</li> </ul>